

令和5年4月25日(火)

「日本一のあいさつを目指そう！」
～ 喜入中学校生徒会「あいさつのBASE」 ～

本校の生徒会では、日本一のあいさつができる学校を目指して取り組んでいます。その目標達成のために、あいさつを定着させようと「あいさつのBASE」として取り組んでいます。

あいさつをする意味は、心を開き、その心に近づくために、日常生活からいろいろな人とコミュニケーションを図ることにあります。「あいさつのBASE」の「BASE」とは「ビー、エイ、エス、イー」で、喜入中あいさつ心得の頭文字です。

まず、「B」はビッグボイスです。大きな声であいさつです。しかしながら、現在は新型コロナウイルス感染症防止の観点から、大声であいさつする必要はありません。心の中で大きな声を出し、実際は相手に聞こえる程度でいいです。

つぎの「A」は、アフターワードです。先に声を出し、次にお辞儀をします。声を出しあいさつをした後、頭を下げることを「語先後礼」といいます。「語先後礼」は、実は多くの学校や職場で実践されているあいさつの基本です。

3番目の「S」は、ストップです。立ち止まってあいさつです。歩きながら、別な方向を見ながらではなく、きちんと立ち止まってからあいさつします。

最後の「E」は、ワッチ・イントゥ・ザ・アイです。アイの頭文字「E」です。相手の目を見てあいさつします。別な方向を見てあいさつするのではなく、きちんと相手を見てあいさつします。

「あいさつのBASE」とは、大きな声で、語先後礼で、立ち止まって、相手の目を見てあいさつする、つまり相手を大切にしたいあいさつをしましょうという喜入中のあいさつ運動の心得です。朝、玄関先であいさつするときだけでなく、学級で、部活動で、地域で、一人一人が「あいさつのBASE」を意識したあいさつができることを期待しています。